

# 令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月19日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	302	道路維持管理事業					
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち						
			施策	便利で快適な住環境をつくろう						
			基本事業	道路						
	主管課名		道路河川課			課長名	舟橋 伸幸			
	この事務事業の開始時期			昭和50(1975)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	この事務事業の根拠法令			道路法						
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由				
	道路の安全確保、適切な維持管理を行うため、道路の維持補修工事、草刈、パトロール、ごみ拾い等の維持管理委託の発注及び直接修繕を行う。 「SDGsの取り組み：8,10,11,12」					道路管理者の責務として市道の施設管理等を行い、良好な市道の維持管理を行う。				
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①道路施設点検委託設計書作成 ②道路草刈委託設計書作成 ③街路樹維持管理業務委託設計書作成 ④委託業務発注 ⑤委託業者打合せ ⑥苦情処理 ⑦完了検査 ⑧支払い業務 ⑨道路修繕工事						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）					
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				名称		単位			
					① 道路パトロール日数		日			
					②					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）					
認定市道					名称		単位			
					① 市道認定路線数		本			
					②					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）					
道路施設に異常が無い巡回を行い、損傷箇所をなくす					名称		単位			
					① パトロールによる異常発見件数		件			
					② 道路施設の修繕件数		件			
結果(上位基本事業の意図)					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）					
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。					名称		単位			
					① 歩道付道路の整備率		%			
					②					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	
(1)の活動指標		① 日	52	52	52	52	52	52	52	
		②								
(2)の対象指標		① 本	929	950	926	950	950	950	950	
		②								
(3)の成果指標		① 件	135	95	110	110	110	110	110	
		② 件	127	200	145	150	150	150	150	
(4)の結果の成果指標		① %	93.8	94	94.1	94.3	94.3	94.3	94.5	
		②								
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02
目									02	
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	
事業費(決算又は予算額)A		単位	548,073	485,325	452,225	483,426	492,045	502,218	472,718	
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	65,320	19,460	26,643	12,936	14,650	27,944	16,130	
	県支出金	千円	873	850	1,132	900	950	950	950	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	400	105	400	300	300	300	
	一般財源	千円	481,880	464,615	424,345	469,190	476,145	473,024	455,338	
人件費B		千円	31,072.1	31,786.5	32,922.5	30,576.7	30,576.7	30,576.7	30,576.7	
正職員従事時間×人数		時間×人	569×13	617×12	617×12	563×12	563×12	563×12	563×12	
正職員以外の人件費		千円	4,295	4,984	6,120	6,120	6,120	6,120	6,120	
その他の費用C		千円	1,869	1,869	1,298	1,500	1,500	1,500	1,500	
トータルコストA+B+C		千円	581,014.1	518,980.5	486,445.5	515,502.7	524,121.7	534,294.7	504,794.7	
単位あたりコスト		① 千円/本	625.4	546.3	525.3	542.6	551.7	562.4	531.4	
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業名	No.	302	道路維持管理事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	年々老朽化や増加する道路施設の修繕を行う必要がある
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	道路整備や開発により新規の道路施設が増えるため、市道認定は常に必要である
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	道路施設の異常を早期に発見する必要がある
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		道路パトロールの回数を増やす
	目的達成状況	内容		道路パトロールで発見された損傷箇所は修繕済みである
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営	市の道路パトロールや市民からの情報提供により工事業者へ修繕依頼を行う
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		道路修繕事業、道路安全施設維持管理事業、街路樹維持管理事業を統合し修繕の効率化が図られている
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容		統合することで事務の時間が削減できている
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	不特定多数の人が利用するため、受益者を特定できない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の老朽化や拡充及び区画整理の完了により管理すべき施設が増大し、維持修繕や安全対策など様々な案件が寄せられる。	対応策	個々の案件を精査し、その都度、必要な対応を行う。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	緊急修繕工事、指定修繕工事	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも地域住民のニーズに合わせた良好な施設の管理を行う。 適正な維持管理・点検により施設の長寿命化を図る（橋梁）。 道路ストック総点検を実施、修繕計画を策定し交付金を受けて修繕を実施していく（都市計画道路及び緊急輸送路）。 県道豊田知立線の移管に伴い維持管理が増大する。			
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月19日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	303	道路改良事業							
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	道路								
	主管課名		道路河川課			課長名	舟橋 伸幸					
	この事務事業の開始時期		かなり前			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		道路法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	道路の新設、狭い幹線道路拡幅整備や生活関連道路整備を行い交通事故や渋滞などの道路環境の悪化を防止・解消し、市内の道路交通網を整備する。 「SDGsの取り組み：9, 11, 12」					増加する車両等の安全確保と沿道住民や歩行者の安全と利便性向上のため、道路改良整備の必要がある。						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①道路設計業務委託 ②委託業務監督 ③完了検査 ④支払い業務						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	国・県の補助金の確保が難しくなっている				名称		単位					
					① 発注件数		件					
					② 道路整備延長		m					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①認定道路 ②道路利用者					名称		単位					
					① 認定市道総延長		m					
					② みよし市民		人					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①安全に利用できる道路形態にする ②道路を新設し、スムーズな移動経路を確保する					名称		単位					
					① 規格改良済延長		m					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
誰もが安心して出かけられ、異動が円滑にできるための道路整備を推進する					名称		単位					
					① 都市計画道路の整備率		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 件	1	1	1	1	1	1	1			
		② m	200	40	0	0	0	0	0			
(2)の 対象指標		① m	269,966	269,966	264,751	264,751	264,751	264,751	264,751			
		② 人	61,218	62,360	61,375	61,656	61,938	62,219	62,500			
(3)の 成果指標		① m	214,755	214,795	218,935	218,935	218,935	218,935	218,935			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	81	81	81	81	81	81	81			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	03
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	42,132	440,109	91,745	440,514	119,952	539,592	290,592			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	65,000	8,422	22,500	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	2,000	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	7,582	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	34,550	375,109	83,323	418,014	117,952	539,592	290,592			
人件費 B		千円	4,434.5	3,801	3,801	7,153.1	7,153.1	7,153.1	7,153.1			
正職員従事時間×人数		時間×人	175×7	175×6	175×6	247×8	247×8	247×8	247×8			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	623	623	404	404	404	404	404			
トータルコスト A+B+C		千円	47,189.5	444,533	95,950	448,071.1	127,509.1	547,149.1	298,149.1			
単位あたりコスト		① 千円/m	0.2	1.6	0.4	1.7	0.5	2.1	1.1			
(トータルコスト/ (2)の対象指標)		② 千円/人	0.8	7.1	1.6	7.3	2.1	8.8	4.8			

様式1-2

事務事業名	No.	303	道路改良事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	渋滞緩和や安全な通行形態の確保ができ、市民の生活環境の向上に役立っており、成果は得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	人口、世帯の増加、自動車所有台数及び交通量の増加に伴い生活行動範囲が広がっており、計画どおりに事業を進めることが重要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境変化による目的の変更や追加は必要なく、計画どおりに事業進捗を図ることが重要である。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	依存財源も限られているため、成果の向上は難しい。	
	目的達成状況	内容	令和4(2022)年度末市内都市計画道路整備率 81.1%	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 道路を築造し良好に管理していくことは道路管理者である市の責務である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	道路の整備に関する事務事業の統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	都市計画決定された道路を整備する場合の仕様変更はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	不特定多数の人が利用するため、受益者を特定できない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	計画的に事業を進めるための依存財源の確保が必要。	対応策	社会資本整備総合交付金を活用していく。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	市道の 신설・改良整備	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも市道の整備改良により市民生活環境の向上を図る。	
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月19日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	304	里道整備事業												
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち													
			施策	便利で快適な住環境をつくろう													
			基本事業	道路													
	主管課名		道路河川課			課長名	舟橋 伸幸										
	この事務事業の開始時期		昭和56(1981)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務										
	この事務事業の根拠法令		みよし市生活環境整備事業分担金の徴収に関する条例														
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由														
	行政区管理の里道を分担金を徴収し、整備を行う。 大規模集落 10% 大規模集落以外 20% 「SDGsの取り組み：9, 11, 12」		行政区管理の里道を各行政区から分担金を徴収し、里道の改良・新設整備を行うことにより、生活環境の向上及び利便の向上を図る。														
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		①地元区長と施行箇所の確認 ②設計書作成 ③分担金徴収事務 ④工事発注 ⑤現場監督 ⑥完了検査 ⑦分担金徴収事務 ⑧支払い事務														
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）												
変 化 内 容	変化していない				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>対象行政区</td> <td>行政区</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称		単位	①	対象行政区	行政区	②		
	名称		単位														
①	対象行政区	行政区															
②																	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）												
①利用する市民					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>市民</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称		単位	①	市民	人	②		
名称		単位															
①	市民	人															
②																	
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）												
道路整備やカーブミラー等の設置を行い生活道路の利用、利便を向上する。					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>発注件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称		単位	①	発注件数	件	②		
名称		単位															
①	発注件数	件															
②																	
結果(上位基本事業の意図)					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）												
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>歩道付道路の整備率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称		単位	①	歩道付道路の整備率	%	②		
名称		単位															
①	歩道付道路の整備率	%															
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値								
(1)の活動指標		① 行政区	7	4	10	10	10	10	10								
		②															
(2)の対象指標		① 人	61,218	62,360	61,375	61,656	61,938	62,219	62,500								
		②															
(3)の成果指標		① 件	13	4	25	15	15	15	15								
		②															
(4)の結果の成果指標		① %	93.8	94	94.1	94.3	94.3	94.3	94.5								
		②															
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	03					
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値								
事業費(決算又は予算額) A		単位	12,406	17,500	24,890	41,000	18,300	19,500	12,000								
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	1,234	1,750	2,488	4,100	1,830	1,950	1,200								
一般財源		千円	11,172	15,750	22,402	36,900	16,470	17,550	10,800								
人件費B		千円	6,052.6	5,346.7	5,346.7	8,521.5	8,521.5	8,521.5	8,521.5								
正職員従事時間×人数		時間×人	209×8	211×7	211×7	214×11	214×11	214×11	214×11								
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0								
その他の費用C		千円	519	519	404	404	404	404	404								
トータルコストA+B+C		千円	18,977.6	23,365.7	30,640.7	49,925.5	27,225.5	28,425.5	20,925.5								
単位あたりコスト		① 千円/人	0.3	0.4	0.5	0.8	0.4	0.5	0.3								
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0								

様式1-2

事務事業名	No.	304	里道整備事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	生活道路整備やカーブミラー等の設置を行い生活道路の利便性を向上させており、成果は得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	この事業に対する環境変化はなく今後も必要な事業であるため、見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	生活道路の環境向上を望む行政区は多くあり、目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	できない。 事業促進に地元行政区負担が必要であり、地元行政区の負担には限りがある。	
	目的達成状況	内容	令和4(2022)年度末歩道計画整備率 94.1%	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 行政区管理の里道を分担金を徴収し、整備を行う。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	行政区管理の道路であり、他に類似する事業はない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	各行政区からの要望内容は様々であり、事業内容を縮小すること等はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	地元行政区の負担がある。 大規模集落 10% 大規模集落 20%

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	住環境の変化に伴い住民のニーズ内容が高度化している。	対応策	行政区要望に合わせた整備を実施する。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	里道の整備	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも地元行政区要望に合わせ改良・整備を行うことにより生活環境の向上を図る。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年12月07日

1 事務 事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	306	交通安全施設整備事業					
	この事務事業の位置		政策	快適で暮らしやすいまち						
			施策	便利で快適な住環境をつくろう						
			基本事業	道路						
	主管課名		道路河川課		課長名	舟橋 伸幸				
	この事務事業の開始時期		かなり前		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		道路法							
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	事務費 交通安全施設設置事業 カーブミラー設置 道路照明灯設置 車止め設置 防護柵設置 歩道設置事業 「SDGsの取り組み：11, 12」				市道の危険箇所交通安全施設の設置や歩道を設置することにより、交通の安全を確保する。					
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①道路照明灯：道路構造の基準に基づき設置を行う。 ②歩道整備：道路構造令に基づき整備を行う。 ③カーブミラー設置：道路構造の基準に基づき設置を行う。 ④車止め：歩行者の保護のため設置を行う。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	道路管理区域、人口及び自動車の増			名称		単位				
				① 道路照明灯設置本数			箇所			
				② カーブミラー設置本数			箇所			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
道路利用者				名称		単位				
				① 市民			人			
				②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
安全に利用できるようにする				名称		単位				
				① 交通事故件数			件			
				②						
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。				名称		単位				
				① 規格改良率			%			
				②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 箇所	21	3	5	3	3	3	3		
	② 箇所	4	10	7	10	10	10	10		
(2)の 対象指標	① 人	61,218	62,360	61,375	61,656	61,938	62,219	62,500		
	②									
(3)の 成果指標	① 件	193	200	137	200	200	200	200		
	②									
(4)の結果の 成果指標	① %	83.5	83.5	82.7	82.7	82.7	82.7	82.7		
	②									
予算費目	会計	01 一般会計			款	08	項	02	目	04
コスト	年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A	単位	145,152	82,540	74,318	89,040	790	11,240	11,240		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	19,720	15,000	19,010	24,000	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	125,432	67,540	55,308	65,040	790	11,240	11,240	
人件費 B	千円	6,157.6	3,982	3,982	3,974.8	3,974.8	3,974.8	3,974.8		
正職員従事時間×人数	時間×人	243×7	220×5	220×5	183×6	183×6	183×6	183×6		
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
その他の費用 C	千円	415	415	202	202	202	202	202		
トータルコスト A+B+C	千円	151,724.6	86,937	78,502	93,216.8	4,966.8	15,416.8	15,416.8		
単位あたりコスト	① 千円/人	2.5	1.4	1.3	1.5	0.1	0.2	0.2		
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	No.	306	交通安全施設整備事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市道の危険箇所交通安全施設を整備することにより、交通安全に寄与し成果は得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	交通安全に対する事業は、各場所により対策方法が違っておりそれぞれにあった対策を講じているため見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市道における交通安全は、交通事故防止に寄与し安全に通行利用するための事業であるため見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	成果向上には、限りがある	
	目的達成状況	内容	令和4(2022)年度規格改良率 82.7%	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市道の整備は道路管理者である市の責務である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	交通安全施設を設置する事業であり、他に類似する事業はない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	道路構造令等に沿って交通安全施設を設置するため、仕様等の変更はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	交通安全施設の整備を行うものであり、特定な受益者はいない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の老朽化等による施設更新の増大が懸念される。	対応策	適正な維持管理を実施し、老朽化に伴う施設破損等の防止を図る。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	交通安全施設の整備。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも適正な施設管理を行い道路利用者の交通安全を図る。			
		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		↑ 増加			



# 令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月19日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	312	都市計画道路整備事業							
	この事務事業 の位置		政策		快適で暮らしやすいまち							
			施策		便利で快適な住環境をつくろう							
			基本事業		道路							
	主管課名		道路河川課			課長名	舟橋 伸幸					
	この事務事業の開始時期		平成3(1991)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		都市計画法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	市内に都市計画決定された都市計画道路を新設整備し、幹線道路網によるみよし市都市機能の向上を推進する。 「SDGsの取り組み：9, 11, 12」					既設の着手している路線の整備を順次進め、事業の効果を最大限に発揮していく。						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①補償調査積算業務委託 ②道路詳細設計業務委託 ③完了検査 ④支払い事務						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	国・県の補助金の確保が難しくなっている				名称		単位					
					① 都市計画道路整備延長		m					
					② 用地取得面積		m <sup>2</sup>					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
みよし市事業による都市計画道路					名称		単位					
					① 蜂ヶ池線整備計画延長		m					
					② 三好中部特定土地地区画整理関連計画延長		m					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①県道三好沓掛線から国道153号までのアクセス時間を短縮する					名称		単位					
②区画整理事業に合わせた計画的整備により事業完了を図る					① 三好沓掛線～国道153号間の所要時間		分					
					② 蜂ヶ池線進捗率 整備済延長/計画延長		%					
結果(上位基本事業の意図)					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する					名称		単位					
					① 都市計画道路の整備率		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標		① m	54,255	54,295	54,255	54,255	54,255	54,255	54,955			
		② m <sup>2</sup>	0	5,000	0	5,000	0	0	0			
(2)の 対象指標		① m	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450			
		② m	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530	1,530			
(3)の 成果指標		① 分	7	7	7	7	7	7	7			
		② %	78	78	78	78	78	78	78			
(4)の結果の 成果指標		① %	81	81	81	81	81	81	81			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	02
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	190,919	15,533	13,378	16,154	7,536	198,783	170,134			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	36,420	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	1,150	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	31,400	0	0	0	0	0			
	その他		千円	23,215	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	98,734	15,533	13,378	16,154	7,536	198,783	170,134		
人件費B		千円	5,430	4,706	4,706	5,343.1	5,343.1	5,343.1	5,343.1			
正職員従事時間×人数		時間×人	250×6	260×5	260×5	246×6	246×6	246×6	246×6			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	623	623	404	404	404	404	404			
トータルコストA+B+C		千円	196,972	20,862	18,488	21,901.1	13,283.1	204,530.1	175,881.1			
単位あたりコスト		① 千円/m	135.8	14.4	12.8	15.1	9.2	141.1	121.3			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/m	128.7	13.6	12.1	14.3	8.7	133.7	115			

事務事業名	No.	312	都市計画道路整備事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市内に都市計画決定された都市計画道路を新設整備し、幹線道路網によるみよし市都市機能の向上を推進しており成果が得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	都市計画決定されている道路を築造するにあたり、環境変化に左右されることがないため見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	都市計画決定時からの環境変化もなく、目的も見直す必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	用地取得や地元調整も必要なことから事業推進には限界がある。	
	目的達成状況	内容	令和4(2022)年度末市内都市計画道路整備率 81.1%	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市道を築造していくのは管理者である市の責務である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	本事務事業と他の事務事業を統廃合することはできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	用地交渉や工事発注設計には時間を要することから、事業費や人件費を削減することはできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	不特定多数の人が利用するため、受益者を特定できない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	依存財源の確保が必要となる。	対応策	愛知県が策定した社会資本総合整備計画書の交付対象事業の一つとして事業を実施することにより依存財源を確保した。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	都市計画道路の整備	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも計画的に整備を推進し、都市機能の整った住みやすい街みよし市を目指す。			
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			